

# 「第6回 JCN 現地会議 in 岩手」 ～これからの地域のための行政とNPOの協働カタチ～

テーマ2 「学ぶ」

陸前高田まちづくり協働センター センター長 小野仁志



主体は住民・・・地域の元気をサポートする



**青年会主催 市長との対談**  
12月15日 参加人数12名  
青年会の主催により、市長 副市長の考えや、今後のまちづくりに対しての、若者の意見や思いなど、活発に話し合い、10年20年後の高田が住みよいまちになっているように、自分達の今後の活動にも力を入れて取り組んでいこうと、皆さん意欲的でした。

**あかりの木 お披露目会**  
9月9日 参加人数 55名  
あかりの木は、子供達の思いを形にした、復興のシンボル第一号として、商店街に設置されました。子供達の思いを大切に、商店街としても、地域の一員とし皆様が集う場所作りを続けてまいります。



## 協働とは

- 手法であり、仕組みである。
- 事業の形態を示すものではない。
- 対話を重視し、関わる全ての人々が主体者となり、違う立場の意見を尊重しながら、互いに合意点を見出し、事を進めること。
- 一方的な計画、事業実施の結果を説明するだけのこれまでの行政の在り方
- 行政任せで何も言わない住民意識
- 要望、批判とそれを恐れる対立関係、信頼関係無視

## 復興とは

- みなさんは、どのようなイメージを持って復興に向かっているのか。
- 元に戻すことなのか
- 新しいものをつくり出すことなのか
- 「合意」と「スピード」どちらを選択するのか
- 復興の主体者は誰なのか

## まちづくりとは

- いろいろな建物、道路ができ、まちができる。
- 働く場がある。生活ができる。
- 住み続けたいと思う人が増える。
- 賑わいの場がある。お店、祭り・・・
- 安心安全のサービスがある。
- **自分たちでつくり上げたまちだという意識。**
- **住民力: 課題を解決し、未来を創造する力。**
- **行政と住民が未来のイメージを共有できること・・・協働関係**

